

まちの話 題



みんなでまちをきれいに

なぎなたモニュメント・コンビニ周辺清掃

松浦ロータリークラブ（本吉直之会長）が9月11日、文化会館前のなぎなたモニュメント、セブンイレブン松浦志佐町店前の国際ロータリー記念碑および店舗周辺の清掃作業を行いました。

屋外に設置されたモニュメントは、一年間の汚れが拭き取られた後、磨き粉を使って丁寧に磨き上げられました。

本吉会長は「市民の憩いの場として、気持ちよく過ごしていただきたい。今後も松浦市のモニュメントとして親しまれるよう活動していきます」と話しました。



「優愛の会」20年の地道な活動

社会参加活動事例に県内から唯一選出

福島町の「優愛の会」（永田俊子代表）が、内閣府社会参加活動事例の紹介事例に決定し、社会参加章が贈られました。

この事例は、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者グループを内閣府が紹介するもので、県内から唯一の事例決定です。「優愛の会」は、地域の独居高齢者世帯を対象に、手作り弁当を手渡して届け安否確認を行ったり高齢者の話し相手となり、地域の民生委員や行政機関につないだりする活動を行っています。永田代表は「国から認めていただきありがたい。本来なら支えてもらう側の世代だが、支える側としてこれからも地域のために活動を続けていきたい」と話しました。

左から2人目が
永田さん▶



地域ぐるみで長寿をお祝い

敬老の日

9月の「敬老の日」にあわせ、市内各地で長寿を祝う敬老行事が開催されました。

星鹿地区では9月15日、敬老行事の一環として警察から特殊詐欺についての講話があり、高齢者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

前田地区でも同日、青壮年会が仮装ショーを披露して高齢者の皆さんを楽しませ、公民館は大きな笑い声に包まれました。

その他の地区でもさまざまな趣向をこらしたお祝いが行われました。



▲星鹿地区

▲前田地区

いつまでもお元気で！

市内最高齢 松本綾乃さん

市は、長寿をお祝いするため、9月13日に市内最高齢者である松本綾乃さん（御厨町・大崎上、107歳）へお祝いの花束を届けました。現在、松本さんは押浜医院併設短期入所施設「はればれ」に入所中ですが、元気に過ごされており、家族や施設の人たちからあたたかい祝福を受けました。松本さんはしっかりとした口調で「昨年に引き続き、お祝いをしてもらいありがとうございます」と感謝の気持ちを話しました。

男性の市内最高齢者は宮本列平治さん（鷹島町・阿翁浦、100歳）です。松浦市内の9月1日現在の高齢者は、70歳以上が6,117人、100歳以上が30人（男性1人、女性29人）となっています。



地元漁師さんとのふれあい

第13回鷹島「海の市」

第13回鷹島「海の市」(鷹島地区活性化協議会主催)が、9月21日、鷹島町の新松浦漁協漁業体験学習施設で開催されました。

当日は、台風接近に伴い、開催が心配されましたが、会場は県内だけではなく、福岡、佐賀などからも多くの来場者がありました。

恒例となっている鷹島本まぐろの解体ショー、即売会をはじめ、とれたて鮮魚を使った漁師丼や、漁師の奥様手作りかまぼこ、トラフグ唐揚げなどの販売もあり、その場で味わう旬の魚の美味しさに感動する人やお目当ての商品を購入する人たちで賑わいました。

次回は、令和2年2月22日に開催予定です。



秋を彩る市民文化祭

松浦市民文化祭(作品展示)・明るい選挙啓発ポスター

松浦市民文化祭(作品展示)が9月14日から16日までの3日間、文化会館で開催されました。

会場には小・中学生の夏休みの作品、保育園・幼稚園、高校生・一般から出品された、書・絵画・写真・俳句・手芸など約530点の作品や県展で入選した作品が展示され、多彩な作品が、会場を訪れた人たちを楽しませました。

同会場には、市内の児童、生徒から応募があった明るい選挙啓発ポスター130点も展示され、自分が好きな作品の番号を投票用紙に記載して実際の投票箱に投票する取り組みも行われました。



注意！信号機のない横断歩道

松浦地区交通安全協会

松浦地区交通安全協会(森務会長)が9月24日、親和銀行松浦支店前の横断歩道で街頭啓発活動を行いました。

この取り組みは、信号機のない横断歩道で歩行者優先を徹底する啓発活動として「秋の交通安全運動」に合わせて県内42か所で初めて実施されました。

この日は会員ら18人が参加し、ドライバーに向けて一時停止の注意喚起などを行いました。

森会長は「信号機のない横断歩道では一時停止をする車が少なく、ドライバーの皆さんはもう一度原点に戻り、交通安全をお願いします」と話しました。



子どもたちが土俵で真剣勝負

天満神社願成就祈願祭・奉納子供相撲大会

天満神社願成就祈願祭・奉納子供相撲大会(天満神社主催)が9月23日、調川町にある天満神社の境内で開催されました。

この行事は、諸願成就と豊作を感謝し、子どもたちの健全育成を願って毎年開催されています。

赤や白のまわしをつけた幼児や児童、生徒約30人がお祓いを受けたあと相撲を奉納しました。最後まで勝負を諦めない子どもたちの熱い奮闘に、観客から大きな声援があがりました。当日は、調川地区青少年健全育成会からかき氷、たこ焼き、豆菓子がかかるまわれ、境内に子どもたちの元気な声が響きました。

